

静岡県立 熱海高等学校

「地域との協働による高等学校
教育改革推進事業（地域魅力化
型）」への取組

外部資源を有効に活用した、地域を担う「人財」の育成
～地域に育ち、地域に育ててもらおうキャリア教育～

令和4年1月20日（木）

令和3年度「地域との協働による高等学校
教育改革推進事業」全国サミット



地域の実情を踏まえた特色ある教育の実施

○ 熱海：「社会課題の先進地域」

熱海市は65歳以上の高齢者が人口の半分に迫り、生活保護率や空き家率なども高い。「熱海は日本の“課題先進地”」。街を持続させるには、課題を自分事と捉えて行動できる関係人口をいかに増やすかが鍵」(machimori市来代表)

○ 市街再生：「熱海の奇跡」観光のV字回復

行政、経済団体、観光団体、市民による切実な「危機感」の共有
→民間主導で「熱海の再生(「リノベーションまちづくり」)
…成功モデルが多数

地域との連携強化に向けた学校運営体制の改善

熱海高校の状況

- コミュニティースクールへの移行
学校課題への対応に様々な分野から助言、協力
- 校内の推進体制
「総合探究」⇒学年、
「教科における探究学習・教科間連携」⇒教科会、
「特別活動」・「部活動」⇒生徒指導担当・顧問会、
「評価開発」⇒職員研修 など、
一人一役以上、全校体制で推進

地域資源や情報のプラットフォーム構築

熱海高校の状況

○地域コーディネーターの情報力

・水野綾子氏：雑誌編集等を経て合同会社TURNER代表
現代文化最先端の業界で働き、熱海市内で子育てをする「二拠点生活」
→「多様な働き方」に熱海の可能性を感じ魅力を発信

地域のいま(最新)＝現在進行形＋未来形の情報

…行政施策(観光振興・市街再興・移住促進)と事業の動向、
経済活動、芸術文化、市民活動、etc…

○地域の先駆的・先進的活動者、分野別・産業別等の専門家

…まちづくりコンサルタント、ビジネス支援アドバイザー、
市行政(産業振興担当)、新興・再興の事業主 等

⇒ 第一線、最前線で活躍する人の言葉、思いに触れる

「地域との協働による高等学校教育改革事業 (Ⅰ 地域魅力化型)」

熱海高校における取組

●コンソーシアムを構築

熱海市役所 熱海伊東法人会青年部

熱海市立多賀小学校/中学校

地元企業(熱海商工会議所)

伊豆半島ジオパーク推進協議会

成果: 多彩な構成機関の特質を生かした連携
による学習が実現

- ・放課後に企業社員と業務や職業観を懇談(キャリアカフェ)
- ・パソコン部が市役所と協働し市広報の特集記事制作 等

課題: コンソーシアムとして共通の目的、方向性の確認

- ・〈小中学校〉進学実績向上⇔〈企業〉地元就職増加
⇒将来の地域を担う人材の育成



「地域との協働による高等学校教育改革事業 (Ⅰ 地域魅力化型)」

熱海高校における取組

● 地域課題の解決に向けた探究的な学び
各教科・科目や総合的な学習(探究)の時間等

・ 総合的な探究の時間 × 地域企業…

1年「熱高ラボ」、2年「熱海ラボ」

地域課題解決をめざした探究活動

・ 理科課題研究 × 伊豆ジオ…

「津波避難」を住民に案内

相互に関連させ、教科横断的な学習を一部試行

・ 体育科と家庭科 → 「マラソン大会に向けた食生活」等



静岡県「新時代を開く高校教育推進事業」 オンリーワン・ハイスクール(グローバル・ハイスクール)

○地域と連携した学校設定科目の研究

●企業、自治体との「商品の共同開発」や、
オンラインによる「他校との交流授業」

・人気菓子店やベーカリーと地域資源「レモン」
で新商品開発

・FM熱海湯河原と広報委員がラジオ番組制作

・特別支援学校の児童・生徒対象に「高校生
ホテル・高校生エージェント」を実施

特支高等部生徒と観光コース生がオンライン企画会議
中学生へのプレゼンもオンラインで実施

・熱海市次世代観光・地域交通プラットフォーム実証事業に
観光コース・福祉コース生が参加しニーズ調査
+有志生徒が「行き先」コンテンツ動画を制作



静岡県「新時代を開く高校教育推進事業」

オンリーワン・ハイスクール(グローバル・ハイスクール)

○地域と連携した学校設定科目の研究

●「企業インターンシップ等を取り入れた学校設定科目」の設定、「地域企業と連携した授業」研究
地域課題の解決に向けた探究的な学びを
カリキュラムの中に体系的・系統的に位置付け
・総合探究1年「熱高ラボ」、2年「熱海ラボ」を
増単(1→2) + 3年次に学校設定教科・科目
「キャリア・マネジメント」2単位を新設、総合探究と
の連携により異学年のチームで地域企業等と協働、
上級生の成果や経験も継承



自らが実体験することで気づく課題

I 総合的な探究の時間

(探究・教科横断的学習) 【桃陵】

学年担当 から 教科担当に変更

I 総合的な探究の時間 (桃陵)

1年2単位・2年2単位

- ・地域課題のテーマ設定、解決方法
 - 「観光」観光と地場産業
 - 「福祉」高齢化、バリアフリー
 - 「防災」津波対策
 - 「国際交流」外国人労働者
 - 「エネルギー資源」温泉活用
- ・企業、自治体と協働し企業が究める
人材の考察を通し、将来の生き方を考える。

串刺し連携
縦断的連携
学年の枠を超えた

II 3年次 学校設定教科・科目

【キャリアマネジメント】

教科間連携

II 学校設定教科・科目 (キャリアマネジメント)

3年2単位 SDGzを意識したテーマ

- a **国際交流** 台湾高校生交流
語学力 (中国語、英語)
プレゼンテーション能力
- b **生命自然保護** スキューバーライセンス
ライフセーバー
DASH海岸 (水質保全)
- c **リノベーション** 測量の技術・復興・DIY
フォークリフト・建築デザイン
- d **食** 地場産品、郷土料理
和洋中、包丁さばき
- e **社会制度と福祉** 医療事務資格取得
ボランティア・生涯スポーツ
障害者スポーツ (ボッチャ)
- f **メディア探究** 報道、広報、HP更新
取材、情報発信

課題：学校と地域の連携を進める教員の資質拡充

○教員＝「教科指導の専門家」

「教科の枠を超える」…これまで指導の前提にない、
既存の知識・経験が及ばない…

今後の社会に必要な「生きる力」

＝**正解のない問いへの対応**

○教室(教科書)から地域(人・社会)へ

「実際の現場(行政・企業)はいつでも動いている」

…生徒は勿論、教員にとっても、様々な業界等で課題にどう対応しているかを具体的に知る機会が
校内には明らかに不足

⇒**地域の現実そのものに学ぶ必要**

